

★日本の男女間の格差の実態は…?

基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを示すHDI(人間開発指数)と、女性が政治や経済活動の場での参画を測るGEM(ジェンダー・エンパワーメント指数)、そして様々な分野における男女間の格差を示すGGI(ジェンダー・ギャップ指数)を比較してみました。

日本は生活水準や所得が高いため、HDIの順位は世界で8位ですが、女性が意思決定の場に参画する機会は少ないため、GEMでは54位となっています。更に、GGIを見ると98位と低い水準となっています。

このように、日本は教育を受け人間開発の達成度では実績を上げていますが、女性の社会進出、男女間の完全平等を示す指数は国際的にとても低いことが指摘されています。

日本では1999年に「男女共同参画社会基本法」が公布・施行されました。法制度は整備されても、男女間の格差はまだ存在し、実態は世界水準にほど遠いことが課題といえます。

HDI：人間開発指数 (Human Development Index)

順位	国名	値
1	アイスランド	0.968
2	ノルウェー	0.968
3	オーストラリア	0.962
4	カナダ	0.961
5	アイルランド	0.959
6	スウェーデン	0.956
7	スイス	0.955
8	日本	0.953
9	オランダ	0.953
10	フランス	0.952
11	フィンランド	0.952
12	米 国	0.951

「長寿を全うできる健康的な生活」、「教育」、「人間らしい生活」という人間開発の3つの側面を簡略化した指数。具体的には、平均寿命、教育水準(成人識字率及び就学率)、調整済み1人当たり国民所得を用いて算出。

GEM：ジェンダー・エンパワーメント指数 (Gender Empowerment Measure)

順位	国名	値
1	ノルウェー	0.910
2	スウェーデン	0.906
3	フィンランド	0.887
4	デンマーク	0.875
5	アイスランド	0.862
6	オランダ	0.859
7	ベルギー	0.850
8	オーストラリア	0.847
9	ドイツ	0.831
10	カナダ	0.820
：	：	：
54	日 本	0.557

女性が政治・経済活動・意思決定の場に参画できるかどうかを測るもの。HDIに対しGEMは能力を活用する機会に焦点を当てている。具体的には、国会議員・専門職・管理職に占める女性割合と推定所得を用いて算出。

GGI：ジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index)

順位	国名	値
1	ノルウェー	0.823
2	フィンランド	0.819
3	スウェーデン	0.813
4	アイスランド	0.799
5	ニュージーランド	0.785
6	フィリピン	0.756
7	デンマーク	0.753
8	アイルランド	0.751
9	オランダ	0.739
10	ラトビア	：
：	：	：
98	日 本	0.643

経済・教育・政治・保健の分野における性別による格差を数値化した指数のこと。GEMは国の開発レベルの影響を受けるため、必ずしも男女間格差を示せないが、性別による男女間の格差を明らかにできる。

なぜ男女共同参画社会を実現することが必要なのか?

前号では特集として「男女共同参画ってなあに?」というテーマを取り上げました。第7号では「なぜ男女共同参画社会を実現することが必要なのか?」について見ていきたいと思います。

男女共同参画社会の実現のために!



急速に進む少子高齢化、労働力人口の減少、世界経済のグローバル化、情報通信の高度化、家族形態の多様化、それに引き続く昨年末からの世界的な不況などによるリストラ問題など…。

今、日本をとりまく社会情勢は急速に変化しています。また、これに伴い、雇用の形態や人々の生き方・価値観も変化し、そして多様化してきています。

この時代の変化を的確にとらえ、多様な活力ある地域づくりを積極的に推し進めることが求められています。今後、地域の活力を高め、このような時代の変化を乗り越えていくためには、地域に住む女性や男性が、その個性と能力を存分に発揮できる社会「男女共同参画社会」を形成していくことが非常に重要な課題といえます。

どうせ女性の地位向上のためのものなんじゃろう?

★なぜ男女共同参画社会が実現することが必要なのか?



別に反対はしないけど、僕たち男性には関係ないさ。



<h4>◎少子高齢化</h4> <p>少子高齢化による労働力人口の減少、社会保障問題など、社会経済情勢の変化に対応するためには、女性の参画と活用が不可欠です。</p>	<h4>◎家計リスクの回避</h4> <p>年功賃金制、終身雇用制の今までの日本の賃金・雇用システムが崩壊しつつある中、共働き型家庭が増加しています。</p>	<h4>◎政策の豊富化</h4> <p>経済のグローバル化、価値観の多様化の中で、女性を始めとした多様な視点を政策過程に反映する必要があります。</p>	<h4>◎子育て</h4> <p>子育てをめぐる問題が指摘されている中、父親の育児参加・子どもとの関わり的重要性が再認識されています。</p>
---	---	--	---

男性にとってもメリット…?

これまでの『男性優位社会』の中、男性が抱えているストレスを見直してみると、これらのストレスの陰には「男だから」という意識や「男らしさ」へのとらわれが潜んでいるようです。ストレスを抱えながらも毎日頑張って働く男性たちの中には、ストレス解消のために喫煙や飲酒が常習的となり健康問題を引き起こす人、金融業者から次々と借金をするほどギャンブルにのめり込んで多重債務に苦しむ人、そして中には、誰にもその悩みを言えずに自殺をはかって亡くなってしまっている人もいます。青森県警が発表した2008年の県内の自殺者の数を見てみると、523人中男性が378人、女性が135人で、男性73.7%と全体の約3/4もの割合を占めていることが分かります。このような悲劇を招かないためにも、これらの問題に早急に対応して行く必要があります。そのためには、「男はこうあるべき」、「女はこうあるべき」という性別にとらわれた意識や役割に制約されずに、男性も女性も互いに個性と能力を十分に発揮し、個人として自分らしい生き方や考え方ができる社会『男女共同参画社会』の実現が必要となってきます。

<h4>男性のストレス</h4> <ul style="list-style-type: none"> 職場の人間関係(上司・同僚・部下) 不況による失業への不安 長時間労働、サービス残業の常習化 接待等の不本意な飲酒機会の増加 上司からの仕事の圧力 など 	<h4>要因は…?</h4> <p>男は「弱音を吐いてはならない」、「仕事が出来なくては」、「妻を養わなくては」などという意識や「男らしさ」へのとらわれにも関係が…。</p>	<h4>男女共同参画社会の実現</h4> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会とは男性も女性も「～らしさ」にとらわれることなく、個人の能力を発揮し行動できる社会のこと 男性にとっても女性にとっても魅力ある社会
---	---	---

市内で活躍している人を紹介します

おじやましましーす

金木町 川倉 泉
NPO法人 笑楽生
理事長 泉谷和宏 さん

「NPO法人 笑楽生」理事長の泉谷和宏さん。

次女が保育園に入園して間もない頃、立て続けに倒れた。入院して検査をした結果、医師から「この子は急な団体生活になじめず、パニック障害を起したかと思われる」と同時に、言葉を聞いていない、生まれつき脳に障がいがあるものと思われまします。「と告げられた。しかしこの時「何があってもこの子を守る!」と心の中で誓ったという。

小学三年から森田養護学校に通学することになったが、「給食も無ければスクールバスもない…。おかしい。」ふと疑問がわいた。

そのため泉谷さんは自ら平成十九年十月「NPO法人 笑楽生」を立ち上

「母親たちが毎日の生活を送るために縛られることなく働けるように応援したい。障がいを持つ子どもの親が一番心配なのは親が先に死ぬこと。その時に困らない貯えと、子どもの自立を考える必要がある。母親たちが働いて生き生きすれば、子どもたちも生き生きしてくる。そして、今までめくさかして、陰に隠れていた父親はもちろんのこと、家族みんなが協力することで「家庭が明るくなる。」と語る。

将来は、障がいを持つ・持たないに関係なく、若男女みんなが働ける場所をつくりたいという。目標に向かって、娘のために、人のために、がむしゃらに頑張っている人のために尽くしている泉谷さんの周囲にはどこからともなく自然と人々が集まってくる。

「なも、めくさがる必要ね。娘がおらは選んで生まれてきてくれたんだから。娘のお陰で自分人間として生きなれた。」と泉谷さんは笑顔で語ってくれた。

お知らせ 男女共同参画情報紙 「さんかく」編集委員募集!!

市では男女共同参画社会に向けた意識啓発を目的とし、情報紙「さんかく」を年2回発行しています。男女共同参画社会や情報紙づくりに興味のある方を編集委員として募集します。あなたも情報紙を作成してみませんか?
【お問い合わせ先】企画課 男女共同参画室(内線:2156)

あおもい県民カレッジ単位認定講座 女も学ぼうシリーズその1「放射線における放射線の利用」

有効に活用されている放射線が、農業分野でどのように利用されているかを専門家を招いて考える機会を企画しました。「五所川原はつらつ虹の会」と共に学んでみませんか。どなたも来場歓迎!

◇場所:五所川原地域職業訓練センター(定員30人程度)
◇時間:10時~12時30分(※事前申込み不要)
【お問い合わせ先】NPO法人放射線教育フォーラム青森支部 TEL:080(1292)8644